



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 イマジニア株式会社

コード番号 4644 URL <http://www.imagineer.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 神藏 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO

(氏名) 中根 昌幸

TEL 03-3343-8911

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,368	32.0	598	17.4	743	33.4	503	40.9
27年3月期第3四半期	2,552	△6.7	509	△4.0	557	△16.0	357	△26.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 456百万円 (33.7%) 27年3月期第3四半期 341百万円 (△47.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	52.45	—
27年3月期第3四半期	37.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
28年3月期第3四半期	9,643	—	8,982	—	92.6	—	930.86	
27年3月期	9,366	—	8,687	—	92.7	—	904.79	

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 8,934百万円 27年3月期 8,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	22.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成28年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 記念配当 10円00銭

配当予想の修正については、本日(平成28年1月29日)発表いたしました「配当予想の修正(30周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,321	20.1	935	29.6	1,035	33.7	673	44.6	70.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	10,649,000 株	27年3月期	10,649,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	1,051,321 株	27年3月期	1,051,321 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	9,597,679 株	27年3月期3Q	9,597,679 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、現況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に弱い動きがあるものの雇用情勢及び生産などは改善し、全体としては緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、消費者マインドの弱さや海外の経済の下振れなど不安定な要因もあります。

当社グループに関連するモバイルビジネスを取り巻く環境は、スマートフォンの世界的な普及が進んでおります。

このような環境下におきまして、新たな中長期的な収益モデルの育成を課題として取り組んでおり、主力事業のモバイルコンテンツ事業での新たなビジネスの構築に加えて、新規事業として農業用水路の未利用のエネルギーを活用した小水力発電を中心とした再生可能エネルギー事業に取り組んでおります。

また、平成27年10月にスマートフォンゲームの市場開拓をより一層加速させ確かなものにするため、これまで数多くのヒットゲームの開発に携わってきた実績を持つ馬場一明氏と共同で株式会社SoWhat（資本金100,000千円、当社持分比率50%）を設立いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同期を売上高及び各段階利益の全てが上回る結果となっております。売上高3,368,489千円（前年同期比32.0%増）、営業利益598,334千円（前年同期比17.4%増）、経常利益743,981千円（前年同期比33.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益503,479千円（前年同期比40.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、新たにセグメント区分を追加しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「II 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

（モバイルコンテンツ事業）

モバイルコンテンツ事業の売上高は2,707,483千円（前年同期比41.3%増）、セグメント利益は789,688千円（前年同期比20.3%増）となりました。スマートフォンゲーム、「a uスマートパス」「NTTドコモスゴ得コンテンツ」のキャリア主導サービス、新たな教養メディア「10 M TVオピニオン」の普及、海外へのコンテンツ提供などに取り組んでおります。

（モバイルコマース事業）

モバイルコマース事業の売上高は271,626千円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は3,425千円（前年同期比131.4%増）となりました。引き続き、デジタルコンテンツとの連携を図り集客を強化することによって、スマートフォン向けのコマースビジネスの拡大およびライセンス及びセールスプロモーションビジネスとしてライセンス提携先の拡充に取り組んでおります。

（パッケージソフトウェア事業）

パッケージソフトウェア事業の売上高は405,452千円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益は39,396千円（前年同期比17.8%減）となりました。新作ニンテンドー3DS向けタイトルの開発に取り組んでおり、メダロットシリーズの新作タイトル「メダロット9」を平成27年12月に発売いたしました。

（再生可能エネルギー事業）

再生可能エネルギー事業の売上高は0千円、セグメント損失は39,062千円となりました。平成27年12月に農業用水路を利用した小水力発電第1号機の設置を完了しております。今後、慎重に安全性や発電性能等を確認しつつ本格稼働を目指しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して276,667千円増加した9,643,458千円となりました。その主な要因は、投資有価証券が1,419,242千円の増加、売掛金が472,841千円及び有形固定資産が248,740千円の増加となったものの、現金及び預金が1,623,945千円の減少となった事によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して18,279千円減少した661,141千円となりました。その主な要因は、未払法人税等が100,116千円及び流動負債のその他が10,385千円の減少となったものの、買掛金が71,812千円の増加となった事によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して294,947千円増加した8,982,317千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が292,330千円の増加となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結事業見通しは、平成27年5月15日付の決算短信で公表した数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結累計期間において、株式会社SoWhatを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,356,386	5,732,440
売掛金	858,893	1,331,734
有価証券	272,769	19,835
商品及び製品	12,824	11,711
仕掛品	5,922	4,814
原材料及び貯蔵品	18	18
その他	174,916	159,571
貸倒引当金	△3,904	△19,776
流動資産合計	8,677,827	7,240,350
固定資産		
有形固定資産	61,830	310,570
無形固定資産	30,779	33,267
投資その他の資産		
投資有価証券	333,081	1,752,323
その他	272,631	313,345
貸倒引当金	△9,359	△6,400
投資その他の資産合計	596,352	2,059,269
固定資産合計	688,963	2,403,107
資産合計	9,366,790	9,643,458
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,903	83,716
営業未払金	253,072	259,189
未払法人税等	165,987	65,870
賞与引当金	-	24,750
返品調整引当金	7,268	494
その他	237,095	226,709
流動負債合計	675,327	660,729
固定負債	4,093	411
負債合計	679,420	661,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	4,186,577	4,478,907
自己株式	△622,323	△622,323
株主資本合計	8,699,276	8,991,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,375	△57,446
その他の包括利益累計額合計	△15,375	△57,446
新株予約権	3,468	3,468
非支配株主持分	-	44,687
純資産合計	8,687,369	8,982,317
負債純資産合計	9,366,790	9,643,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,552,069	3,368,489
売上原価	1,078,385	1,720,950
売上総利益	1,473,683	1,647,539
返品調整引当金戻入額	29,491	7,268
返品調整引当金繰入額	26,689	494
差引売上総利益	1,476,485	1,654,313
販売費及び一般管理費	966,864	1,055,978
営業利益	509,621	598,334
営業外収益		
受取配当金	130	32,889
投資事業組合運用益	8,618	119,392
為替差益	33,380	-
貸倒引当金戻入額	5,400	2,959
持分法による投資利益	-	18,016
その他	4,990	2,141
営業外収益合計	52,519	175,398
営業外費用		
持分法による投資損失	1,739	-
為替差損	-	15,062
貸倒引当金繰入額	-	14,461
その他	2,490	228
営業外費用合計	4,230	29,752
経常利益	557,911	743,981
特別利益		
投資有価証券売却益	36,966	4,600
新株予約権戻入益	817	-
特別利益合計	37,784	4,600
特別損失		
投資有価証券評価損	1,005	489
投資有価証券売却損	25,990	-
固定資産除却損	-	674
特別損失合計	26,996	1,164
税金等調整前四半期純利益	568,698	747,417
法人税、住民税及び事業税	179,624	199,795
法人税等調整額	31,709	49,455
法人税等合計	211,333	249,250
四半期純利益	357,365	498,166
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△5,312
親会社株主に帰属する四半期純利益	357,365	503,479

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	357,365	498,166
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△16,130	△42,070
その他の包括利益合計	△16,130	△42,070
四半期包括利益	341,234	456,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,234	461,409
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△5,312

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	モバイル コンテンツ 事業	モバイル コマース 事業	パッケージ ソフトウェア 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,916,858	249,988	385,221	2,552,069	—	2,552,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,084	344	3,428	(3,428)	—
計	1,916,858	253,072	385,566	2,555,497	(3,428)	2,552,069
セグメント利益	656,527	1,480	47,903	705,911	(196,289)	509,621

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,117千円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△197,407千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門
 等にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	モバイル コンテンツ 事業	モバイル コマース 事業	パッケージ ソフト ウェア 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	2,707,483	255,880	405,126	0	3,368,489	—	3,368,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15,746	326	—	16,072	(16,072)	—
計	2,707,483	271,626	405,452	0	3,384,562	(16,072)	3,368,489
セグメント利益 (又は損失)	789,688	3,425	39,396	(39,062)	793,448	(195,113)	598,334

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,255千円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△196,368千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門
 等にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、新たに再生可能エネルギー事業を開始したことに伴い、第1四半期連結会計期間から「再生可能エネルギー事業」を報告セグメントに追加しております。